

農業振興公社だより

発行と印刷

(社)角田市農業振興公社
 〒981-1505 宮城県角田市角田字大坊22
 電話 (0224) 632328
 FAX (0224) 611521
 URL <http://www.kakunou.or.jp/> E-mail kakuda@kakunou.or.jp



八月二十一日から二十四日までの四日間、あぶくま農学校土の塾を開講しました。
 土の塾は、新規就農希望者と農業に興味のある方、農業を体験したい方を対象とした農業体験塾で今年で三回目。十五人の応募に対して、県内から十一人、関東方面から十九人の三十人が参加しました。東京都目黒区の方、東京農業大学の学生など、十八歳から五十歳代の方で、将来、就農したい、定年後に農業をやりたいたいという方々です。
 カリキュラムには、宮城県や角田市の新規就農支援措置や角田市の農

角田の田畑が学びの場 あぶくま農学校「土の塾」

業の概要をはじめ、肥育牛、酪農、水稲等の農家見学と説明、現場で就農のきっかけや経営内容、体験談などを見聞したほか、農業振興公社の顧問で土の塾塾長の小松光一氏と角田市、千葉県東金市の新規就農者の三者による「新規就農は貧乏で元気だ!」と題したパネルディスカッション、市内の農業施設見学などが盛り込まれていました。

今回の土の塾は、滞在中は自炊という変わった形で開催されましたが、参加者からは「塾生に一体感が生まれて非常に良かった」と好評だったほか、農家との交流会では「生産の現場の本音を聞くことができた。角田でなければできない農業の本質を知ることができた」という意見が寄せられました。

また二十四日からは、二泊三日で農家へのホームステイが特別コースとして行われ、十二名方が参加。東京から参加した大野夫妻は、井上和男さん宅(北郷)で梅干しの漬け込み作業や転作大豆の除草作業などを体験したそうです。
 来年度もたくさんの方が、まじめな角田農業を学んでいただければと思います。

